

「第58回全日本教職員バドミントン選手権大会」に参加して

レフェリー 松野木 聡

この度、表記の大会にレフェリーとして参加しました。

バドミントンに関係することで長崎県を訪れるのは、これで5回目です。1回目は今からちょうど10年前に行われました全中における組合せと大会（レフェリー）、それから長崎国体の視察、そして今大会の組合せと大会の全5回です。

この内、全中におけるディプティレフェリーは教職員連盟理事長の高橋さんでした。当時まだレフェリー経験の浅い私の指導役で、ディプティレフェリーとして来られたものと推察しております。高橋さんとは同郷で、中学校の先輩でもあります。そんな関係で、昔から親身に付き合ってくださいっており、大変感謝しております。全中で早く終了したある日、高橋さんと二人でグラバー亭を散策し、ベンチに座って30分位話し込んだことが思い出されます。全く色気の無いことであります。

3回目は、3年後に行われる「えひめ国体」のための視察であります。長崎国体の会場は長崎市立体育館で、とても立派なものであります。えひめ国体で予定されている体育館は、アリーナしか無く、それ以外の設備はほとんど仮設で賄わなければならないことから、とても羨ましかったことが思い出されます。そういえば長崎国体初日は、台風襲来で運営は大変だったようですが、今から思えば懐かしい思い出となっています。

さて、そんなこんなで今回の教職員大会。実は、私は本年度をもってレフェリーを卒業することになっておりますが、その最後の年に教職員大会のレフェリーを務めることができ、大変喜んでおります。平成25年の「第52回宮崎大会」の時も、レフェリーで参加していることから、連盟や長崎県協会の中に何人も知っている方々がおられるのであまり緊張も無く、気持ちよく仕事を進めることができましたと思います。また教職員の大会という特性からか、トラブルも殆ど無く、これまた気持ちよい大会だったと考えております。更に宮崎大会の時に比べて表彰式が簡略化されており、表彰が決まった方々から試合中でも順次表彰を行っており、時間短縮につながっていたと思います。この大会は種目が非常に多く、まとめた結果発表や表彰は長時間となり、とても疲れた記憶があります。その点、今回はとても良かったと喜んでおります。

この拙文、表記のような題名であるにも拘らず、長崎に関する雑感のようなものになってしまいましたが、お許しください。何せ文才がありませんので。これが、知的(?)な先生方の目に留まらないことを願うばかりです。

第58回となりました全日本教職員バドミントン選手権大会の今後の益々の発展と皆様方のご健勝・ご活躍を祈念して終わらせていただきます。本当にありがとうございました。